

C-1 指導案

国語科研究授業学習指導案

石川県立羽咋高等学校 教諭

指導日時・教室 平成21年 9月 8日(火) 5限目 教室名 12H
対象生徒・集団 普通科1年生40名(内訳12H40名)
科目名 国語総合(単位数5)
使用教科書 精選 国語総合(東京書籍)

1 単元名 格言と故事

2 単元の目標

- ・漢文訓読の基礎を知る。【知識・理解】
- ・漢字・漢語になれ、話の筋をとらえる力をつける。【読む力】
- ・話のおもしろさを味わい、漢文への興味・関心を持つ。【関心・意欲・態度】

3 指導に当たって

(1) 生徒の状況

12Hは活発な生徒が多く、雰囲気としては明るいクラスである。授業中の反応もよく、意欲的である。古典の予習状況は概ね良好である。漢文については、学び初めて日が浅いため、予習の内容と方法を繰り返し指導する必要がある。

(2) 指導方針・方法

家庭学習の主体的な取り組みは、充実した授業を抜きにしては望めず、授業で味わった達成感・満足感が、次の学習への意欲を生むと考える。そこで、指導として次の4点を試みる。

①予習として本文書写(白文)と書き下し文を課し、授業中に確認を行う。

②毎時間音読練習を行う。

- ・漢文は「訓点・振り仮名付き→訓点付き→返り点付き→白文」と、難易度を徐々に上げる。
- ・チェックシートを用いて相互評価を行う。

③ワークプリントを用いて句法の反復練習を行う。

④内容理解を促すワークプリントを使用する。

(3) 教材選定の理由

格言の学習を通して、漢文の読み方の基礎を学んだのを受けて、話に筋のある小文を読むことによって、本格的な漢文学習への第一歩とさせたい。「借虎威」の漢文特有の簡潔で無駄が無く、論理的な文章は、初学者の高校生にとっても理解しやすいものである。話のおもしろさを味わわせるとともに、漢文への興味・関心を喚起できるものと思われる。また、使役形等の基本的な句法の学習を通して、文章を正しく理解するために句法の学習は必要であることを理解させ、句法学習に目的意識を持たせることができると考える。

4 単元の指導計画(総時数10時間)

第一次 格言(訓点・再読文字)(4時間)

第二次 故事「矛盾」「推敲」(2時間)

第三次 故事「借虎威」(4時間)

- ： 1時 音読練習、書き下し文の確認、句形の学習
- ： 2時 現代語訳と読解
- ： 3時 まとめ。句形の復習・・・本時
- ： 4時 故事成語の表現効果

5 本時の指導と評価の計画（第三次 第3時）

(1) 本時のねらい

- ・ 寓言の背景について知り、話の内容をより深く読み取る。【読む能力】
- ・ 使役形について理解を深める。【知識・理解】

(2) 準備・資料等 音読相互評価シート、ワークシート（宿題）、句法練習シート

(3) 本時の展開

時間	学習内容	生徒の学習活動	教師の指導・留意点	評価規準 【観点】(評価方法)
10分	〈導入〉 教科書音読練習 本時の学習内容の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・ ペアで音読練習を行い、チェックシートで相互評価する。 ・ 説明を聞き、本時のねらいを把握する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 評価の観点と目標（白文で訓読）を示す。 うまく読めない生徒への支援 ・ 個別に目標を与える。 ・ 本時のねらいを簡潔に説明する。 	
20分	〈展開1〉 寓言を用いて江乙が言おうとしたことを考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 宿題の答え合わせをペアで行う。 問一（宣王の質問内容と心理） 問二（例話と本論のつながり） 問三（江乙の訴え） ・ 発表を聞き、自己の考えを整理し、ワークシートを完成させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ なぜその答えになるのか、理由も説明し合うように指示する。 話し合いが進まないペアへの支援 ・ 着眼点を示す。 ・ 指名し発表させ、意見を整理する。 	本文に即して、内容を読み取れる。 【読む能力】 (ワークシート)
17分	〈展開2〉 使役形の復習	<ul style="list-style-type: none"> ・ 句法練習シートに取り組み、使役形についての理解を深め、知識を定着させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 使役形について説明する。 ・ 机間指導を行い、適宜助言を与える。 ・ 指名により答えを確認する。 	使役形について理解している。 【知識・理解】 (ワークシート)
3分	〈まとめ〉 本時のまとめと次時の予告	<ul style="list-style-type: none"> ・ 説明を聞き、本時の学習内容を整理する。 ・ 宿題と次時の予習内容を把握する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 簡潔に本時のまとめを行う。 ・ 宿題の指示をする。 ・ 次時の予告と予習の指示をする。 	

